

【小樽青色申告会連合会会長賞】

税金と私たちの関わり

小樽市立望洋台中学校 二年

奥村 奈央

私たちは、日々税金を払っています。買い物をしたとき、税金があることで値段が高くなり、なんのために私たちが税金を払わなければならないのか、と思う人もいます。ですが、税金というものは私たちの暮らしに欠かせないものなのです。

私たちが納めている税金は、生活の中でどのような役割をしているのでしょうか。

税金は、私たちが豊かで安心して暮らしをするための公共サービスを行うために納められています。

私たちの暮らしと身近に税金が使われているところは、公共の施設です。幼稚園や小・中学校、図書館、病院、公園など、生活に欠かせない施設が税金によって維持できているのです。また、私たちが歩く道路や橋、信号も税金のおかげなのです。もし、税金がなくなってしまうたら、道路も自由に歩くことができなくなってしまうのかもしれない。

また、建物だけがあっても意味はなく、その中で働く人達も必要です。学校の先生や、市役所、区役所の職員といった公務員の方、そして、首相、文部大臣などの閣僚、国会議員の人達のお給料も税金によって支払われています。

では、身近で、なくてはならない公共サービスは、どのようなものがあるでしょうか。私たちの健康と生命を守る、救急車、消防車も税金で購入されます。また、家に泥棒が入った時、怪しい人がいる時は警察官が駆けつけてくれます。

このように、私たちの安全や治安、健康や生活を守るためにも税金が必要なのです。税金がなくなってしまうたら、安全に暮らすことや、健康を維持することができなくなってしまうかもしれません。

私たち中学生が受けている教育も、公共のサービスといえるのです。私たちが学校で使う机や椅子、教科書や教材などの教育費も税金で支払われています。

公立学校の児童・生徒一人当たりの教育費はどのくらいなのでしょうか。「国税庁ホームページ」によると、小学生は約八十八万円で中学生は約百五万円の教育費が必要です。ですが、この教育費は、税金によって負担されているのです。税金のおかげで、私たちは教育を受けられるということができているのです。

なので、教育を受ける、ということが当たり前に行えることではないことを改めて感じました。

このように、税金は私たちの暮らしに重要なものなのです。お店で買い物をしたときに値段が高くなっても、私たちが払う税金は、誰かの役に立っているんだと思うと、嬉しくなりますね。